



社会医療法人近森会

発行 ● 2012年2月25日

# びるっば 3

Vol.308

www.chikamori.com 〒780-8522 高知市大川筋一丁目1-16 tel.088-822-5231 fax.088-872-3059 発行者●近森正幸/事務局●川添昇

## 精神医療の行方

近森病院第二分院院長  
明神 和弘

第二分院の屋上庭園



### 第二分院の現在

第二分院を新築し10年が経過しました。それまでの統合失調症中心の治療構造からストレス外来、ストレスケア病棟、うつ病専門の就労、復職リハビリデイケア「パティオ」を開設し、ストレス関連疾患の包括的な治療システムを作り、実績を挙げるなど大きく変わってきました。

また、既存のデイケア、訪問看護ステーションと援護寮、地域生活支援センターなどの精神障がい者の在宅支援部門をメンタルリハビリテーションセンターとして独立させたことで、104床の精神科病院でしかなかった組織が、マンパワーを充実させ、それぞれが地域の医療、福祉、保健機関との連携をはかり、大きなケアシステムを構築して、精神障がい者の社会復帰の支援の輪を充実させてきました。

### 援護寮まち

「援護寮まち」は平成11年に開設し、13年間で148名の入所者を受け入れ、生活訓練と就労リハビリを行い多くの利用者がアパートや自宅で生活し、仕事にも就いて社会生活を送れるようになりました。

しかし、地域に開かれた施設運営で他院からの入所者も多く利用し、障がい者の自立に貢献できましたが、3月



末で制度廃止のため残念ではありますが終了となります。援護寮廃止後、施設の1階部分は支援センターこうちが継続して使用し、4、5階居室についてはメンタルクリニックちかもりが新たなデイケアプログラムを4月から展

開する予定となっています。

### メンタルクリニックちかもり

「メンタルクリニックちかもり」は統合失調症のリハビリプログラムを充実させてきました。最近の若い統合失調症の通所者の方々は、個々の目標を持って通所し就労を目的とするケースも増えプログラムも充実してきています。新たなプログラムとして、増加の一途を辿っている「発達障がい、人格障がい」のリカバリーデイケアを準備中です。

発達障がいの就労にターゲットを絞ったデイケアの運営と治療意欲のある人格障がいのリカバリーデイケアについて弁証法的行動療法、対人関係療法やサイコドラマなどのスキルを駆使し精神疾患を持つ患者が自己実現や行き方を主体的に追及するプロセスを支

〈2面に続く〉

## 天平の薨と仏たち



近森 正幸

2月初めの土曜日、橿原市で行われた学会での講演のついでに古都奈良を見物した。橿原考古学研究所附属博物館では、身の丈以上の埴輪など、多彩な発掘品を見て、朝廷のあった場所はさすがに違うと感心した。

橿原市は奈良平野の南で、北の端の奈良市街へはタクシーで移動した。奈良は何処を掘っても遺跡が出てくる。だから、大きな工事をするにしても道路を掘るときも、遺跡の発掘が優先されるし、埋蔵文化財を保護するために、地下水の流れには神経を尖らせている。だからいつまで経っても道路が

良くならないとタクシーの運転手は嘆く。嘆きたいのはこちらの方で、ちょっとよそ見をするたびにガシャ、ガシャとメーターが進む。交通渋滞がひどいのだ。

その日は明治42年に「関西の迎賓館」として建てられた奈良ホテル本館に泊まって、100年の時間を経たクラシックホテルを楽しんだ。

翌日は興福寺をはじめ、薬師寺、唐招提寺、そして東大寺の大仏殿、二月堂、法華堂、最後に春日大社にまで足を延ばした。天平の仏たちを見ていると、当時の人たちは仏像にその神々しさと文明の華やぎを感じたのではないか。仏たちの衣装や仏座の浮き彫りもハイカラで、7回に1回しか行き着けなかったという遣唐使を送り続けた人々の思いがよく分かる。

若草山の山焼きは前週に終わっていたし、桜の時期には早すぎるこの時期は、寒いだけで観光客も少なく、それが却って天平の薨と仏たちを味わうには良かったかも知れない。

理事長・ちかもり まさゆき

援していきたいと考えています。

### ラポールちかもり

「ラポールちかもり」も、今回の診療報酬の改定では精神科訪問看護がクローズアップされており、これから一層の充実を計って行きたいと考えています。

### 時代に求められる精神医療を

昨 2011 年は医療計画に精神疾患が加わることが決まり「5 疾病 5 事業」となりました。これはうつ病や認知症などの精神疾患が増加し、「社会を挙げて取り組むべき疾患」と位置づけられたことから、今後、地域医療計画に精神の医療機能や医療機関の分担、

連携が推進されていくことになりませ

ず。  
われわれのケアシステムも 10 年が経過し、社会のニーズも大きく変わってきていますが、ハード面と共にソフト面も充実させ、その時々求められる精神医療を提供して行きたいと考えています。

みょうじん かずひろ

## ちょっと気になる話題の治療法 / 消化器内科 3

# 小腸内視鏡検査

近森病院消化器内科部長  
高松 正宏



小腸は約 6m もの長さがあり、そのため内視鏡で検査をすることは非常に困難なため、「暗黒の臓器」とまでいわれてきました。最近、カプセル内視

鏡とダブルバルーン内視鏡が普及し始め、小腸の検査に対する状況は変わってきました。

カプセル内視鏡は、小さい内視鏡を

飲むことで全消化管を観察することができ、本人の苦痛も殆どありません。ダブルバルーン内視鏡は、約 2m の長い内視鏡で、2つのバルーンを交互に膨らまし小腸をジャバラのように折りたたみながら手繰り寄せ、全小腸を観察することが可能です。さらに、組織をとって癌でないか調べたり、内視鏡的な治療にも応用されるようになって

います。  
当院では昨年からダブルバルーン内視鏡を導入し、今までに小腸癌、出血、潰瘍、狭窄などがみつきり、組織診断、止血術、拡張術など、いままでの内視鏡ではできなかったさまざまな治療をすることができるようになりました。

今後さらに胃切除後の内視鏡や、癒着で挿入が難しい大腸内視鏡などさまざまな応用ができると思われます。

たかまつ まさひろ

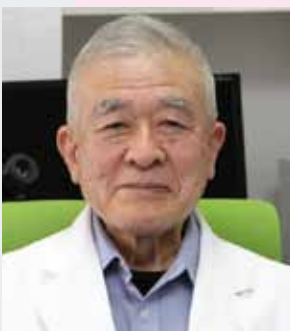
ヒトは日々の生活をより清しく生きるために「座右の銘」を設定し、その精神的基盤を生活信条や行動規範とすることがある。私にとっての座右の銘は表題の「健・絆・癒の心を持つ」とあり、その意味するところから生活することを心掛けている。

「健・絆・癒の心」の意味するところは、基本的に、まず、①健康を維持・増進し、次いで、②良好な絆（望ましい人間関係）を構築する過程で、③自他共に癒作用をおよぼすというものである。スパイラルを構成する健・

### 一私の流儀 1回

#### 座右の銘

「健・絆・癒の心」を持つ



病理診断科部長  
えんざん ひであき  
円山 英昭

健康の証左でもある。

②絆（ばん）、きずな。ヒトは様々な絆により支えられ生かされている。絆には個人の意志とは関係なく生じる絆、すなわち、親子、家庭、地域や国家などの大小の絆と、夫婦や友人、師弟、職場、仲間など個人

の意志が加わり、新しく構築される絆とに大別されるように思う。自分の属するいずれの絆にせよ、絆の一構成員であることを自覚し、積極的に参加したい。

③癒（ゆ）、いやし。心身とも健全な状態が得られ、良好な絆が生じれば、その絆の内外で、癒しの存在、さらに癒しの言動を心掛けたい。一人一人のはじめは小さな癒しの気持も次第に周囲に拡がり、より大きな癒しの行動として結実するだろう。一方、癒作用には2面性があり、癒すヒトは同時にその行いにより常に癒されている。

私達はお互いに「健・絆・癒の心」を大切にして、まずこの職場の絆の中で、そして患者さんとの間にも「新しい絆」を創造し、患者さんの心身の病の治癒を目指し、言動に、癒し作用があふれる医療人でありたい。

## 3月の歳時記

### スイートピー

近森病院4階東病棟看護師  
福山 留美



和名では、ジャコウエンドウやカオリエンドウなどと呼ばれ、春から初夏にかけて色彩豊かなチョウ型の花弁を咲かせます。花言葉に「門出、思い出、別離」などという意味があり、その意味合いから卒業シーズンには贈り物としてよく出回っています。春から新しく就職される皆さんと一緒に今後の病院の新たな門出を歩んでいきたいと思ひます。 ぶくやま るみ



絵・総務課広報担当  
公文幸子



## 第1回「KOCHI FES」

# 研修医や医学生の勉強会として たいへん盛り上がりました

近森病院初期研修医1年目  
伊達 慶一

2月18日(土)近森病院管理棟3階フロアにて、第一回「KOCHI FES」が開催されました。主催はコーチレジ(高知県で初期臨床研修を行っている研修医の総称)、共催は高知県臨床研修連絡協議会、高知医療再生機構で、研修医や医学生のための勉強会として、高知県内の2年目研修医が中心となって企画、開催されました。

医学生や研修医と地域の医師との交流を深めることにより、高知県での初期研修、ひいては高知の医療を盛り上げていこうというイベントです。当日は医学生83人、研修医36人、医師等41人、合計160人とたいへん多くの方に参加していただきました。

医学生は高知大のみならず、長崎大、岡山大、遠くは順天堂大からも参加いただきました!また、マスコミもNHK、高知新聞をはじめ4社が取材に訪れていました。

内容は、USTREAMでライブ中継+

▼低学年向けのブースで。左から2人目が筆者



▲医学生や研修医、地域の医師など160人が参加した第一回「KOCHI FES」開会式

▲立ち上げの中心メンバーである石井洋介先生(左)と伴正海先生

ツイッターを大型モニター表示しながらオープニングアクト、開会式が開催

され、その後各ブースに分かれました。

まずは医学生低学年向けの挿管などを体験できるブースでは、みなさん初めての体験がほとんどで、悪戦苦闘しながらも楽しそうでした。高学年向けのマッチング対策ブースでは、国試直後の6年生や研修医による勉強の仕方などアドバイスがされていました。

医師、研修医向けには県内の3名の先生方による講演がありました。当院からは神経内科の山崎正博先生が講演され、どの講演も明日から役に立つ内容ばかりでした。その後全体向けに特別講演として、筑波大学鈴木瞬先生によるメンタルヘルスケア、有名著書の多数ある夏井睦先生による創傷治療の講演がありました。

閉会後は8階の職員食堂で懇親会がありました。高知らしくお酒も入って、サプライズ企画の各病院の自慢大会「恋のレジ騒ぎ」などざっくばらんにさまざまな話をしました。また二次会も研修医と学生で夜遅くまでたいへんな盛り上がりでした。

第一回「KOCHI FES」は大成功だったと思います。来年は私たち1年目研修医が今年以上に盛り上げていこうと思っています!

だて けいいち

## 第1回近森会健康保険組合講演会

### 遅すぎない早過ぎない、 自分と子供のための性教育

近森会健康保険組合事務局長  
田村 裕彦



上村茂仁先生



平成24年1月28日に組合設立後、初めてとなる講演会を開催しました。講師は心臓血管外科の入江博之部長の紹介で「ウィメンズクリニックかみむら」院長上村茂仁先生をお招きし、「遅すぎない早過ぎない、自分と子供のための性教育」と題して講演をお願いしました。

主に小、中学校の子供さんを持つ職員を対象に企画、また、婦人科医である先生には不妊症や生理痛などについ

ても触れていただき、幅広い女性に聴講いただくことができました。

一見性教育と健保組合では関連が無いようにも思えますが、若者の性に関する相談相手は友人であり、その友人である人たちに正しい教育が必要なこと、子宮頸がんは当初はHPV感染によるもので概ね8割は感染すること、それ故に子宮頸がん検診は毎年必要であることが理解できました。

先生のユーモアを交えた軽妙な語りであったという間の1時間であり、参加者からはもっと聴きたいとの声が多く再企画を望まれました。

たむら ひろひこ

# 一人はみんなのために、 みんなは一人のために

～ One for all. All for one. ～  
そして  
～ Rome wasn't built in a day ～

近森病院第二分院看護部長  
松永 智香



先日、中学1年生の息子のラグビーの試合（四国中学7人制大会）の応援に行ってきました。

土佐塾中学校と公立中学校の一年生で結成された「高知ジュニア」で、

12名の可愛くて逞しいラグーマンたち、総当たりリーグ戦でぜんぶで6試合あり、監督の方針で全員が必ず全試合に参加する「全員参加型ラグビー」でした。

よき友くすし

21



ご存知ですか？

「医薬品副作用被害救済制度」  
お薬を使うすべての方に知ってほしい制度です。

近森リハビリテーション病院薬剤部薬剤科長 西田 晶子



医薬品とは、その有用性が水準以上であると国が審査し、認めたものです。有用性とは、目的とする作用が十分かどうかという「有効性」と副作用がいかに少ないかという「安全性」のバランスのことです。

副作用がゼロというわけにはいかず、またそれほど心配しなくていいものから細心の注意が必要なものまであります。副作用が起こるパターンは、幾つかあります。

1. 目的とする作用の現れ方が強すぎる場合

2. 望まない作用が現れる場合
3. 体内濃度が大きくなりすぎる場合
4. 相互作用による場合（薬と薬、薬と食品、嗜好品など）
5. ご本人のアレルギー体質などの素因が影響する場合

などがあげられます。薬は両刃の剣ということは否めません。

医師とよく相談し、正しく使用することがとても大切です。しかし、十分注意を払い正しく使用しても、副作用の発生を完全に防ぐことは難しく、万が一入院治療を必要とするほどの重大な副作用が発生した場合に、救済給付を行う公的制度が「医薬品副作用被害救済制度」です。

ふだんはこうした制度とは無縁に治療されていると思いますが、この制度があることを覚えておくと安心といえます。

にしだ あきこ

詳しくは  
副作用救済 で 検索  
PMDA で 検索  
相談窓口 0120-149-931  
独立行政法人  
医薬品医療機器総合機構

結果は、一人ひとりが強みを活かし、一人ひとりがみんなと一緒に戦って、チーム全員で勝ち取っての準優勝でした。まさしく、「～一人はみんなのために、みんなは一人のために～」です。

あれっ？！最近、似たような体験がありましたよ。ちょうど、1週間前の「第19回精神科看護管理研究会」でのこと。企画、運営を近森病院精神科看護が引き受け、和田秘書課長や清水秘書、山内作業療法室長、和田事務長、美崎薬剤部主任、吉田栄養科長、植木PSW主任らの支援を受けながら、精神科看護師みんなで研究会を創り上げました。

方針は業務優先だったので、最初で最後の打ち合わせは前日のみでした。そして、それぞれが与えられた役割に対して、それぞれが責任をもって果たしたら、それはすばらしい完成品になると確信した光景がありました。

終了後、明神院長に報告すると「みんないつもやっているからなあ」とぼつりと重い一言。まさしく、～ローマは1日にして成らず～です。

あらためて、効果的、効率的なチーム医療の原点について再認識することができました。

まつなが ともか

## お知らせ

### 【市民公開講座】

お悩みはありませんか？

おしっこのことで

日時：平成24年3月11日（日）

14:00～16:00（開場13:00）

場所：近森病院管理棟3階大会議室

### 【第94回地域医療講演会】

「群馬大学における地域医療連携」

講師：群馬大学大学院総合医療学教授

医学部附属病院

臨床研修センター長

田村遵一先生

日時：平成24年3月16日（金）

18:30～20:00

場所：近森病院管理棟3階会議室2-3



2月14日（火曜日）に新館総合受付前で行われた「バレンタイン献血」に91名の方々にご協力いただきました。ありがとうございました。



平成 23 年度

## 主な職員旅行先

パリ (2)  
 ソウル (2)  
 シンガポール  
 ハワイ (2)  
 モルディブ  
 ベネチア・フィレンチェ (2)  
 トワイライト EXPRESS で行く北海道  
 石垣島  
 沖縄  
 北海道スキー「ニセコ・ヒラフ」  
 京都フリー  
 三朝温泉カニツアー  
 東京ディズニーリゾート (5)  
 夏休み 東京ディズニーリゾート (2)  
 USJ と大阪フリー  
 USJ (日帰り)  
 神戸王子動物園・須磨海浜水族館 (2)  
 ※ ( ) 内は班数

▼ノートルダム大聖堂からパリ市街を望む



▼シンガポール



▼イタリア、ピサ市のピサの斜塔で記念写真



▼パリ、エッフェル塔を背に



▼ハワイで舌鼓



▲大雪山の麓、凍りついた「銀河の滝」の前で(北海道)

私の趣味

## サークル、クラブの紹介

### Chikamori Challenge Circle

平成 23 年 8 月から医事課を中心とした運動サークル「Chikamori Challenge Circle」を立ち上げました。月 1～3 回スケジュールが合うメンバーが集まり、色々なスポーツを通じてチームワークを高めたり、運動不足の解消やダイエット目的のためなど活動を行っています。

サークル名は略して「CCC」。Club ではなく、気軽に楽しもうと Circle にしました。

現在医事課は 50 名を超える大所帯であり、外来センター



左の写真はバドミントン、下はボーリング。月 1～3 回、出来るときに出来る運動をする



の開設などにより、あまり関わるのが少なくなったメンバーも増えてきているため、このサークルを提案しました。

今までではテニス、バドミントン、スカッシュバレー、ボーリングを行ってきました。競技を固定せず、やりたい競技があれば何でもやってみようを心掛けて運営しています。

今後は職種の枠をこえて多職種での交流ができればと考えております。ご興味のある方はお気軽にお問い合わせ下さい。 執筆 近森病院地域医療連携室/医事課 松本圭司



# 乞！熱烈応援

## 今の自分にできることから

近森リハビリテーション病院言語療法科  
主任 岩崎 雅子



育休明けから8か月、育児をしながらの仕事は今までとは随分違い、戸惑うことも多々あります。仕事に育児にと慌しく過ごす毎日、今回の辞令は身に余る思いでいっぱいでした。これまで先輩や同僚、後輩と本当に多くの方々に助けていただき業務に取り組むことができました。まだまだ微力ですが、これからは他の主任と協力しながら科長をサポートし、まずは今の自分にできることから少しずつ、スタッフがより働きやすい職場となるよう精一杯がんばっていきたいと思います。

いわさき まさこ

## 頼られる存在になれるよう

近森リハビリテーション病院言語療法科  
主任 横畠 史佳



就職してから数年、たくさんの貴重な経験をさせていただき、自分の仕事に少し楽しさと誇りを感じてきたこの時期に、辞令をいただきました。

まだまだ自信が持てないことも多く、いつも周りに助けられ、頼りっぱなしの自分に務まるのかと不安にもなりますが、これからは周りと助け合い、頼られる存在になれるよう努力していきたいと思っています。今後とも、ご指導よろしくお願いたします。

よこばたけ ふみか

## 新たな気持ちで

近森病院理学療法科  
主任 伊藤 希



就職して気が付けば早10年、これまでたくさんのスタッフに支えられながらここまで来ることが出来たと思います。この度、主任心得に就任させていただくこととなり、本当に身の引き締まる思いです。まだまだ未熟でご迷惑をお掛けすることも多々あるかと思いますが、諸先輩方や周囲のスタッフと協力しながら、また新たな気持ちで頑張りますのでよろしくお願いたします。

いとう のぞみ

## いつも「患者さんのために」

近森病院言語療法科  
主任 井上 浩明



2月16日付で主任心得の辞令を頂きました。現在、本院言語療法科は7名と人手不足ですが、少しでも患者さん・病院のニーズに応えたいと精進しています。急性期の言語療法は全国的に見ても確立していません。エビデンスに基づいた訓練を意識しつつ、常に「患者さんのために何ができるか」を軸とし、臨床に臨んでいきたいと思っています。また、先輩方から教わった精神や技術を、継承・発展させながら後輩に伝えていけたらと考えています。

いのうえ こうめい

## 医療安全セミナーを開催して

医療安全委員会／  
近森リハビリテーション病院シニア看護師長  
岡村 奈保



平成24年1月21日医療安全セミナー『安全に排泄するための動作』を開催し、院内外含め100名以上の参加がありました。多くの方から『日常、自分達実践しているトイレ介助の仕方は、介助する自分・介助される患者さんに負担がかかっていたということに気づかされた』と感想を頂きました。

障害を持って生活を送っていく方々への排泄援助には様々な視点があります。その中でもトイレで排泄することには、『転倒リスク』『介護負担』を切り離すことが出来ません。患者さんが安心・快適にトイレで排泄できるために、『介助者はどのような移動介助・工夫を行えばよいのか』実践を交えた講演と在宅での工夫を紹介しました。

今回の講演内容は、介助者だけではなく患者さんとも共有して日常の排泄場面で繰り返し活用することが重要であることも発信させて頂きました。

おかむらなほ

## FIM 講習会 in 土佐 FIM とは日常生活の自立度評価の尺度

### 四国で初めての講習会



右は椿原彰夫教授

日常生活の自立度評価の尺度である「Functional Independence Measure」、つまり FIM の講習会が 2 月 11 日に四

近森リハビリテーション病院  
リハビリテーション科科长  
和田 恵美子

国で初めて高知で開かれました。

100 人を超える県内外の皆様が参加されるなか、FIM の歴史や利用の注意点などを、川崎医科大学リハビリテーション医学教室の椿原彰夫教授にわかりやすく講演していただきました。

その後、運動 13 項目、認知 5 項目を 1 - 7 段階に分けての実際の評価方法を当院のスタッフで分担して講義



しました。

講義したスタッフも準備を重ねていましたが本番では前日から練習を重ねた小笠原理学療法科科长と矢野言語療法科科长の素晴らしい芝居もはさみ、たいへん盛り上がりました。ぜひ来年の第二回目も行いたいと思います。ご協力ありがとうございました。

わだ えみこ

## 排泄ケアセミナーを開催して

排泄ケア委員会/  
近森病院 ICU シニア看護師長  
西本 清香

みんなで骨盤底筋体操



平成 24 年 1 月 17 日 (火) 日本コンチネンス協会会長である、西村かおるさんを講師に招き、「自宅でできる頻尿・尿失禁の予防と改善」というテーマで講義を行いました。

この講座は 3 回シリーズとなっており、3 階出席していただいた方には修了書をお渡しする予定となっています。講義の内容としては、「気持ちのよい排尿とは。頻尿、尿失禁の原因と良い排尿方法」「適切な水分摂取と排尿の方法」「あると便利なグッズの紹



介。スキントラブルの予防」となっており、毎回、骨盤底筋体操を実施することとしています。

定員 20 名のところたくさんの申込をいただき、ありがたいと思いながら、多くの方が人に言えない悩みを抱えているということを実感しました。今回は急遽 30 名に定員を増やし対応させていただきましたが、今後ご要望が多いようであれば随時講座を開設していきたいと考えています。4 月には、男性の方を対象とした講座を予定していますので是非申込をしていただければうれしく思います。 にしもと きよか

## 第 19 回精神科看護管理研究会 IN 高知

### 当事者参画への看護の挑戦 ～みんなあが主役ぞよ～

近森病院第二分院急性期病棟看護師長  
中島 久美



第 19 回の「精神科看護管理研究会」が、1 月 27 ~ 29 日の 3 日間、桂浜荘で開催されました。

この研究会は、全国の精神病院の看護管理者を中心として 1998 年に設立され、精神科看護管理に関する研究ならびに会員相互の理解を深め、精神障がい者とその家族の医療、看護、福祉及び人権の向上に寄与することを目的として設立されました。北は山形、南は宮崎まで、当日参加者を含めて 100 人近い参加者となりました。

前年私が初めて参加し、勢いで事務局を引き受け、悪戦苦闘しながら近森理事長や宮崎副院長をはじめとして、近森のチーム力とおもてなしの心、そして高知県内の精神科病院の協力のもと、楽しい研究会を開催することができました。

なかじま くみ



## 二代目手帳



これは「まち」に来て二代目の手帳です。それまでは手帳を利用することはありませんでした。病棟看護と違い、新しい環境の中で沢山の

困難に当たりましたが、それまで自分の見えてなかった、見てこなかったことに改めて出会う機会だったように思います。

昨年の今頃は何をしていたのか、ページを開くと思い出されます。

にしおか まき



援護寮まち  
西岡 真紀



## 日本クリニカルパス学会に 参加して

近森病院 ICU 病棟看護師  
三好 奈央



昨年の12月9、10日の2日間にかけて、初めて日本クリニカルパス学会に参加し、たくさんの刺激を受けることができました。

「院内パスのバリエーション分析」、「アウトカムとバリエーション」、「教育講演」、一般講演の「パスと教育」、「教育セミナー」など、複数のセミナーを受けました。

パス委員となってから年月も浅く、パスに対してとても低い理解しか持っていなかった私でしたが、パスの歴史から目指すものとする医療の質、向上まで深く講義を受けました。

ポスター発表では他院のパスを知り、当院のパスと比べながらバリエーション分析を聴きました。電子化についてもヤギーシステム(文書管理システム)を使用している当院とはまったく異なる

り、電子化パスにおけるバリエーション分析評価の現状を聞き、病院によりさまざまなシステム、パス運用状況があることを知りました。

パス委員でありながら、なかなかパスへの関心、理解に結び付けられなかった私でしたが、今回、この学会に参加させていただき、単純にたいへん面白かった、と思う気持ちを持った自分に驚きました。もっと知りたいと、勉強してみたいと思いました。

この学会に参加しなければ感じることでできなかった思いを今回感じることで、来年もまた参加してみたいと思いました。当院の高橋委員長、西井副委員長にも積極的にパスを教えてもらいたいと思っています。

みよし なお

## リレーエッセイ

### 釣りの原点

近森病院第二分院 5階病棟看護師長  
萩原 博

明神杯(上ノ加江)で去年釣りあげたアオリイカ。最近ではエギングに凝っています



小学5年生の夏、友達の誘いで初めて釣りへ行くことになった。準備のため近くの山へ行き、ヤブ蚊に刺されながら青竹を切り出し、道具は釣具屋のおばちゃんに聞きながら初心者向けの仕掛けセットを買い、何とか釣り竿(竹竿)が完成。小遣いで餌となる沖アミを買い、自転車のサドルの後ろに変に曲がった竹竿をブツ刺して期待に胸躍らせながら磯に向った。

あいにく磯は時化ていたが何とか釣りができそうな場所をさがし、潮

溜りのようなところで木っ葉グレと新館の水層で泳いでいそうな色鮮やかな魚を数匹釣った。魚のサイズや種類、どちらも食卓に並ぶものではないが、持ち帰った釣果を見て母が褒めてくれ、木っ葉グレを唐揚げにしてくれた。小さすぎて唐揚げにするしかなかったのだろう。

あのとき苦労して作った釣り竿、結び方に困った仕掛け、魚の引き、小骨が多いが旨かった木っ葉グレ、そして褒められたこと、しっかり記憶に残っている。そして今も釣りを続けている。

オヤジになり価値観や見え方も変わり、あの時のように大きさや新鮮さを感じなくなったが、子供の挑戦にはできるだけ応援して褒めるようにしている。 はぎわら ひろし



## 管理部長の

## こだわりヘルシー美食 26

近森会管理部長 川添 昇

加齢によるものなのか、ストレスによるものか免疫力の低下が起るらしい。

先日数人で鍋を囲んだが、翌朝腹部がシクシク痛い。下痢気味で出勤し、一緒に食した人に聞いても誰一人として症状を訴える人がいない。人一倍元気に振るまっけていても、このていらくにショックである。主治医のY先生の診察を受けると「ウイルス性腸炎でしょ」。ウイルスが何かの原因で口の中に入ったものらしい。「普通は一週間位で症状は取れますよ」とことも無げにご託宣された。で、その通り快復したが、その過程で作ったのが、

### 「鶏手羽肉のおかゆ」



画・臨床栄養部部長 吉田 妃佐

〈材料〉2人分

- ①鶏手羽元 4～5本
- ②米 1/2カップ
- ③ショウガ 2.5g・・・みじん切り
- ④ネギ 小口切り適量
- ⑤塩、醤油 適量

〈作り方〉

①に軽く塩を振って置き、30分後にサッと洗う。

②を洗い、水4.5カップに30分漬けておく。

①、②、③を土鍋に入れフタをし、強火にかけ沸騰したら弱火にして約40分ぐらいじっくり煮る。

仕上げに⑤を適量入れ、④を散らす。

〈食べる〉

腹痛の時くらいはアルコールは止めようと思うが、そうもいかない。昨夜はホットウィスキーで今日は焼酎の湯割り(炭水化物の多い日本酒のアツカン)は避ける—こういうところはどうも律儀)でおなかを暖める。締めはこのおかゆをフーフーしながら食す。「滋味」とはまさしくこのことか。骨付き鶏のコラーゲンや上品な脂味とゆるゆるの粥。ショウガの香りと味でじんわり体を暖めてくれる。こんな夜は早々と寝床に入って本でも読むか、という塩梅となる。



## 青年海外協力隊 タンザニア通信 第4号

# Karibu Tanzania!

発行者 村上 野志夫 (青年海外協力隊 平成 22 年度 3 次隊 理学療法士)

## INDEX

今月の1枚～Kijiji (村) にて～  
 タンザニアの食事  
 Safari レポート～キゴマ～  
 今月のスワヒリ語 (Safari)  
 NINAFIKIRI HIVYO  
 ～最近思うこと～



イディフの村の土壁でできた家



パオバブの木陰で語らう

▲今月の1枚

▲夕方には牛追いをする

## 今月の1枚～Kijiji (村) にて～

タンザニア人の友人に誘われて、ドドマの村に滞在した時の一枚。ドドマの街からバスで約3時間、そして歩いて約40分のところにある、村イディフ。町には車が走り、携帯電話が普及し、大抵のものが買えますが、村に住む多くの人々は昔と大きく変わらない生活をしているという事が良く分かりました。家は土壁、水道、電気なんてものはもちろんない。井戸の水を汲み、畑を耕し、日中はパオバブの木陰で語らい、夕方には牛追いに行き、夜は星空の下でドブロクを飲んでまた語らう。

のんびりした田舎ってやっぱりいいな～って改めて思いました。けど、普段町に住んでいる友人は、井戸水を飲んでお腹を壊していましたが……。皆さんもタンザニアの村に行く際は飲料水をお忘れなく。

## タンザニアの食事

タンザニアの主食はウガリです。ウガリとはトウモロコシの粉を水で練ったもの。これを主食にして野菜や肉を食べます。作り方は、火にかけてお湯にトウモロコシの粉を足しながら混ぜていくだけ。タンザニアのママたちは5分ほどで作ってしまいます。



触感はお餅の粘り気をなくして柔らかくした感じ。基本的には無味。適量を手に取り、しっかりこねて形



▲炭のコンロでウガリを作る



手で丸めて付け合せのおかずと一緒にいただきます

▼食卓にはウガリ、野菜、肉などが並びます



をととのえ、野菜や肉と一緒に食べます。最初は味が何もしない感じに慣れませんでした。塩気の濃いタンザニアのおかずにはやっぱりウガリがすごくマッチします。今では毎日食べています。

タンザニアの人たちはお米も食べるし、バナナの煮ものも食べますが、やっぱりウガリを誇りにしているみたいです。日本人の僕がウガリを食べていると、すごくうれしそうに話しかけてきます。「ウガリを食べると力がつく。コメじゃ力が出ないんだ」「日本にウガリはないのか。日本に帰るときはウガリの粉を持って帰れ」などなど。

## Safari レポート ～キゴマ～

10月の終わり、タンザニアに来てから初めて一週間の休暇を取り、キゴマに行ってきました。目的はドドマから列車に乗る





3等座席 列車内



かなところ。その他には1871年、消息が途絶えていた有名な探検家リビングストンを、ジャーナリストのスタンレーが「発見した」ウジジという村もここにあり

ます。キゴマの町から2時間ほどボートで北上したところにゴンベ溪流国立公園があります。ここは面積52km<sup>2</sup>でタンザニア最小の国立公園で



▲パオバブの実を食べられます

▲窓から手を出して買うことができます



こと、ゴンベ溪流国立公園でチンパンジーに会うこと。

列車はダルエスサラームからキゴマまでの1500kmを結んでいます。運賃は3等座席で600円ほど。列車内での食事は、各駅に停車するたびに飲み物や食べ物が入ったバケツを頭にのせたママや子供たちが来て、様々なものを買うことができます。各駅によって名産が違い、魚やマンゴー、塩、サトウキビなど、違いを見ているだけでも中々楽しいものです。同席のタンザニア人と話しながら、列車に揺られること約30時間でキゴマにつきます。



キゴマはタンザニアの西部にあるタンガニーカ湖畔の漁業の町です。コンゴやブルンディ、ルワンダの内戦を受け、難民が多く流入し、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)などのオフィスもあります。現在は周辺国の状態は落ち着いているので一般旅行も可能となっています。キゴマの町はドドマと違い、湖の恩恵から水と緑が豊

BIBI(おばあちゃん)も良い気分



す。イギリス人のジェーン・グドールがチンパンジーの文化行動を発見し、その後の調査・観察で有名になったようです。公園内は山と森で、ガイド同伴でウォーキングサファリが可能です。チンパンジーは国立公園内に散らばっており、実際には簡単に会えません。ですから、ガイド達がトランシーバーで連絡を取り合い、あっちにチンパンジーがいると聞けば道なき道をかきわけ、こっちにいと聞けば崖を上り、山の中を駆け巡りました。

日本でもチンパンジーは動物園で比較の見慣れているから感動は?とっていたのですが、ところが!森の中を駆け、やっと会えたチンパンジーが目前5mで食事をしている姿には大感動。自然の息遣いが聞こえてきます。森の中で一緒に座り、同じ時間を共有する。主役は森の住人達。ヒトは完全にお邪魔させてもらっている感覚です。バブーンやコロブスモンキーなどもあります。ここは野生動物の森の中。

驚いたことはたくさんチンパンジーがくしゃみをしていたこと。ガイドによると季節の変わり目で風邪をひいているとのことでした。ヒトには伝染しないのだろうか?昔は調査目的で餌付けをしていたこともあったようですが、ヒトからチンパンジーへのウイルスの伝染を考慮して現在は行っていないとのことでした。現在チンパンジーはポリオのワクチン接種もする必要があるのでとのことです。現地の人々がチンパンジーを捕まえていた時代もあったようですが、現在は国立公園内で保護されています。しかし、また人が介入することでチンパンジーが背負ってしまったものもあるのだと、考えさせられました。

### 今月のスワヒリ語 : Safari

Safari(サファリ)「旅、旅行」

日本でもサファリパークという名称になっていて身近な言葉ですが、実はスワヒリ語です。一般的には動物を見に行くことが「Safari」のイメージですが、スワヒリ語では旅行全般のことを指しています。「どこにサファリしてきたの?」「実家にサファリしてきたよ」って感じですね。

### NINAFIKIRI HIVYO ~最近思うこと~

タンザニアに来て約1年。日常会話のスワヒリ語にはだいぶ慣れてきました。町でも世間話が出来ます。値段交渉には困りません。旅行をした先でも現地の人々とゆっくり話ができます。こっちが話せると分かったら、人の表情がすごく柔らかくなります。やっぱり現地の言葉が分かる、人と分かりあえるのは、すごく楽しい経験です。会話ができればタンザニアのことをぐっと身近に感じることが出来ます。あと一年、もっと話せるようにがんばります。

村上野志夫(むらかみ やしお)  
 青年海外協力隊 平成22年度3次隊  
 タンザニア・ドドマ派遣 理学療法士  
 yashio310@gmail.com





訓練中の先輩の様子を見学しつつ、患者さんを楽しげに話しかける川田久美さん

### 55年ぶりの祖国日本への思い

55年前に祖国日本を離れた両親の熱い勧めがきっかけで、南米パラグアイ共和国生まれの娘は「海外技術研修員」として、両親の故郷高知県に帰ってきた。「リハビリテーション医療」を急性期から在宅まで系統的に学べるという理由で近森会での研修を希望し、理学療法士として10カ月にわたり勉強してきた。3月の研修修了に向けて、仕上げのときを迎えている。これが研修生川田久美さんの近況である。

農業で生計を立てる両親が簡単には帰国できないことを知っている久美さんには、理学療法士としての技術を学ぶ以外にも「期待が大きすぎて表現が難しい」ほどに、日本への溢れる思いいっぱいだった。

### 三カ国語を話す日本人

南米大陸のほぼ中央に位置し、ブラジルやアルゼンチンと境を接する「パラグアイ共和国」に日本からの移住者や日系人は約7千人。日本からの直行便はなく、ブラジルやヨーロッパ経由で丸二日かかる遠い国である。家で両親とは日本語、理学療法士として勤めるパラグアイの病院ではスペイン語、高校まではブラジルと国境を接する町で学んだためポルトガル語と、あわせて三カ国語を話す。どの言語を遣うときでも日本人の両親を持つためか、「自分は日本人だと意識する」ことが多いという。

### 両親の期待を一身に浴びて

それでも、パラグアイでは家を一歩出れば「パラグアイ人ではない日本人」だし、日本に帰れば「日本の生まれ育ちではない外国人」と見られることが

# 際立つコミュニケーション能力で広い世界へ



首都アスンシオンで働く久美さんを、両親と姪っ子が訪ねてくれた。「嬉しい♥！」

多い。生まれながらに祖国だけには留まらない広い世界が約束されているわけで、その辺りが両親の熱い期待とも繋がるゆえんだろう。

久美さんは下に弟がいる四女で、長女と三女は日本に住み、結婚し子どももいるが、両親はまだその孫たちにも逢える機会がないままに月日が流れている。そんなこともあって、両親の日本への思いは強く、とくに兄弟姉妹のなかで久美さんだけが大学教育まで受けさせてもらったこともあり、「親の期待を一身に浴びて日本へやってきた」という思いが強いのだという。

### 際立つコミュニケーション能力の高さ

理学療法士をどう理由で志すようになったのかいくら考えても思い出せないそうだが、患者さんとのふれあいは本当に楽しいし、担当した患者さんが少しずつ元気になっていく姿が見れるのは「自分のことみたいに嬉しい」のだと、ニコニコ本当に嬉しそうだ。

嬉しいときには嬉しさを、悲しいときには悲しさを思い切り素直に表現できるというのか、理学療法室のスタッフにとっての久美さんの印象は「持ち前の人懐っこい笑顔と優しい声がけで、あっという間に患者さんのアイドルになった」「あっけらかんと親しみやすい」「各院三カ月のローテーションだったが十分それぞれの部署に馴染めたよう」など、コミュニケーション能力の高さが際立っていたようだ。

### 常に生活実態を想定するという発想

初めてのよさこいメイクで「嬉しい♥！」

研修は患者さんと今後どのように接すれば良いか具体的に学べたという。とにかく早く元通りにと、目先の歩き方にばかり重点が置かれていたような療法がパラグアイでは一般的だったように感じていたが、近森会では常に「自宅へ帰ってからの生活を見据えている」ことを身を以て体験した。どの瞬間にも生活そのものを想定するという発想自体を意識するようになったのは、大きい成果といえるのではないだろうか。

3月に帰国すると、「周りに急かされるし、一緒にいて全く違和感のない恋人」との結婚や、研修で覚えた理学療法技術の技術をどう活かしていくかなど、またまた楽しみな展開が待っている。



父親の経営するアマンバイにある農地のほんの一部と車庫と従業員宿舎の風景



## ニューフェイス

①所属②出身地  
③最終出身校  
④家族や趣味のこと、自己アピールなど



佐野 俊和

初めての高知に住むので知らないことだらけで緊張しますが、笑顔を絶やさず頑張りま

さの としかず①心臓血管外科医師②岡山県③香川大学医学部医学科④はじめまして。2月からお世話になります。最近あまりできてい

せんが、趣味はテニスです。

## お知らせ

### 【第95回地域医療講演会】

クリニカルパス特別講演会

座長：金沢赤十字病院

第一外科部長(兼)副院長

西村 元一 先生

1) 「明るい超成熟社会のための

チーム医療維新」

講師：若草第一病院病院長

山中英治先生

2) 「開業医の行う胃瘻・

褥瘡管理の地域連携」

講師：北美原クリニック理事長／

函館五稜郭病院 客員診療部長

岡田晋吾先生

3) 「チームで行うパスのお手軽分析と

パス改善

～院内パス・連携パス～」

講師：黒部市民病院

臨床スポーツ医学センター所長・

関節スポーツ外科部長

今田光一先生

日時：平成24年4月21日(土)

9:00～12:00

場所：近森病院管理棟3階大会議室

## 編集室通信

「アーロンチェア」を買った。机に前傾姿勢で座ると、姿勢が悪いせいかすぐ腰が痛くなっていた。長時間座っても腰が痛くならない椅子を探していて、行きついたのがこの椅子！人体の運動理論に即して設計されたというその椅子は、ごつい見た目とは裏腹に座ると浮く感覚があり、ストレスフリー！しかし、気づくとその高価な椅子で正座したり胡坐をかいたり……、椅子の本領を發揮させられない持ち主です(ブン)

### 2012年1月の診療数 システム管理室

#### 近森会グループ

外来患者数	16,843人
新入院患者数	827人
退院患者数	759人

#### 近森病院

平均在院日数	15.32日
地域医療支援病院紹介率	93.83%
救急車搬入件数	419件
うち入院件数	233件
手術件数	416件
うち手術室実施	250件
→うち全身麻酔件数	150件

●平成24年1月度県外出張件数  
件数47件 延べ人数76人

## 図書室便り (2012年1月受入分)

・新版スポーツ整形外科学 / 中嶋寛之(監修)  
・プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論・運動器系第2版 / 坂井建雄(他監訳)  
・膀胱癌診療ガイドライン 2009年版 / 日本泌尿器科学会(編集)  
・看護業務をめぐる法律相談 / 看護法務研究会(編集)  
・診療画像検査法 MRの実践-基本から読影まで- / 金森勇雄(他編著)  
・外国人診療ガイド 医療機関用改訂版 / (財)政策医療振興財団(編集)  
・外保連試案：手術・処置・生体検査・麻酔試案 2012CD-ROM付 / 外科系学会社会

保険委員会連合(編集)

《別冊・増刊号》

・別冊医学のあゆみ 次世代シークエンサー

で変わる臨床ゲノム学 / 菅野純夫(編集)

・Emergency Care 2012新春増刊「なんで？」

が「なるほど！」にかわる 急性期ケアに必要な輸液の知識これだけ BOOK / 鶴田良介

(編集)  
《視聴覚資料》

・VIDEO JOURNAL of Japan Neurosurgery

Vol.18 No.3 / 永田泉(他監修)

・Audio-Visual Journal of JUA Vol.18 No.1

/ 日本泌尿器科学会(他監修)